

第59回看護記録についてのアンケート 結果報告

回答した職種

・アンケート総数は371であり、以下に示す。

職種	①内視鏡技師	105名	
	②看護師	237名	
	③検査技師	3名	
	④ME	5名	
	⑤その他	38名	(①②両方)

施設と内視鏡スタッフ及び検査数

- **施設**

病院 300 医院 25 診療所 9
クリニック 23 その他 4

- **内視鏡従事スタッフ**

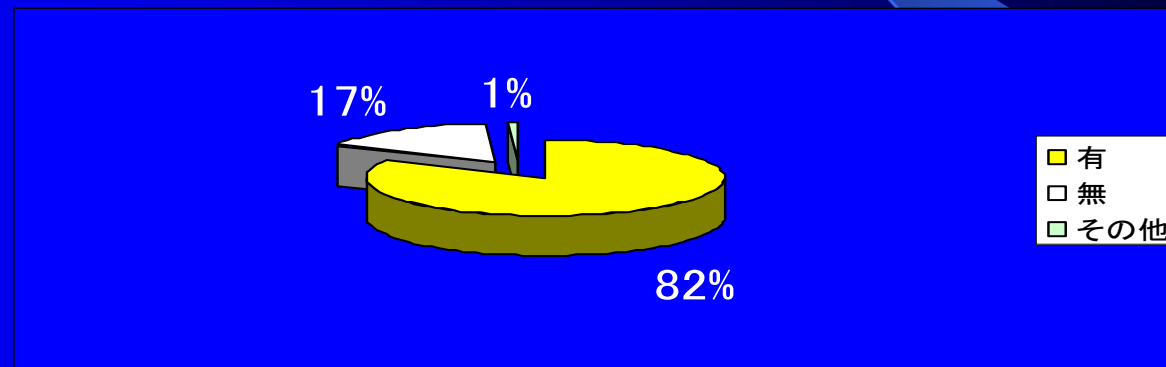
内視鏡技師 1～10名 看護師 1～30名
助手 1～20名 クラーク 1～10名
その他 1～6名

- 検査数は施設規模により様々であり、年間500～9000件の症例であった。

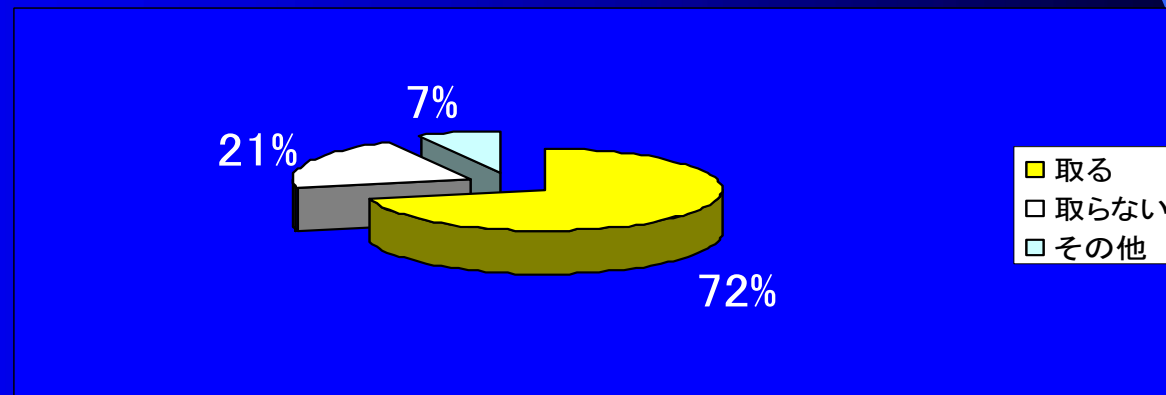
問診表・同意書

問診表・同意書では、以下の通りであった。

問診表

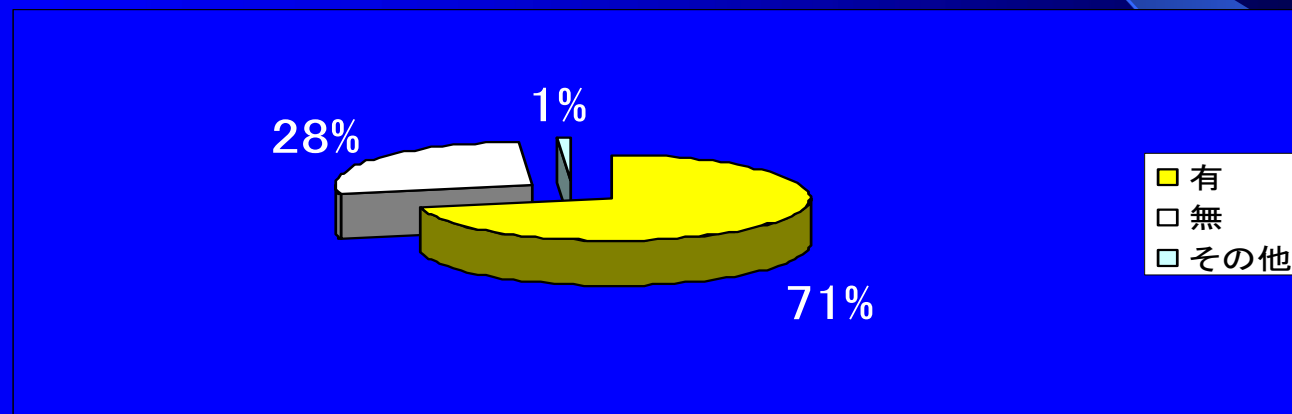


同意書



内視鏡記録用紙

内視鏡記録用紙の有無



記録用紙有の回答に対し

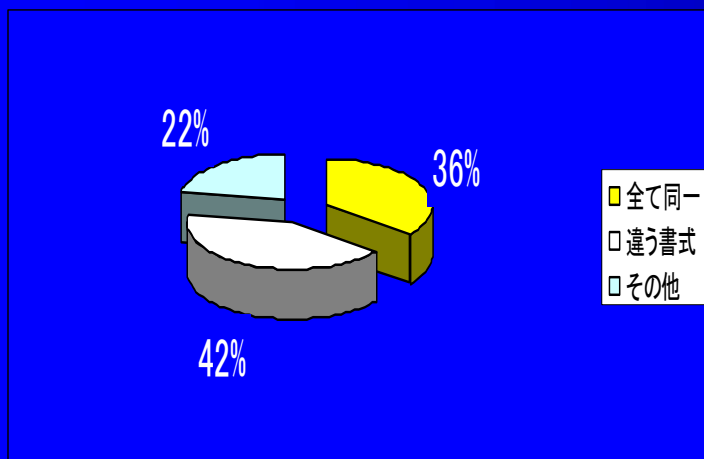
A 様式の形態

B 記録を行う状況 の2郡を調査した。

記録様式と記録記載

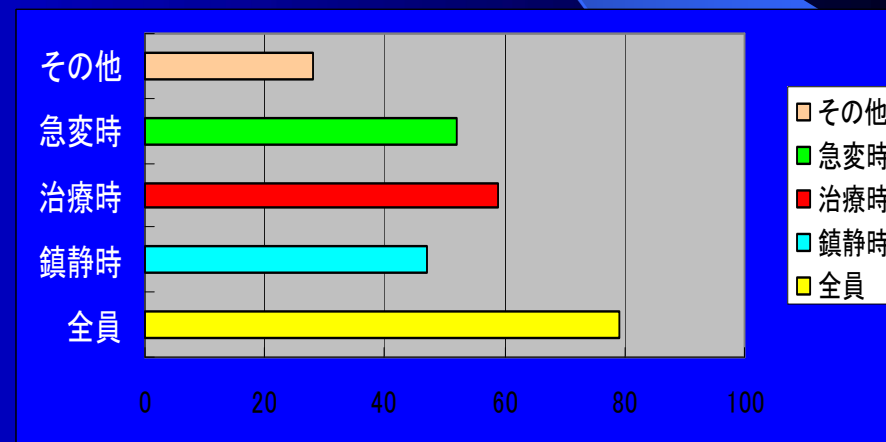
● 記録様式

(上部・下部・胆道・呼吸器)



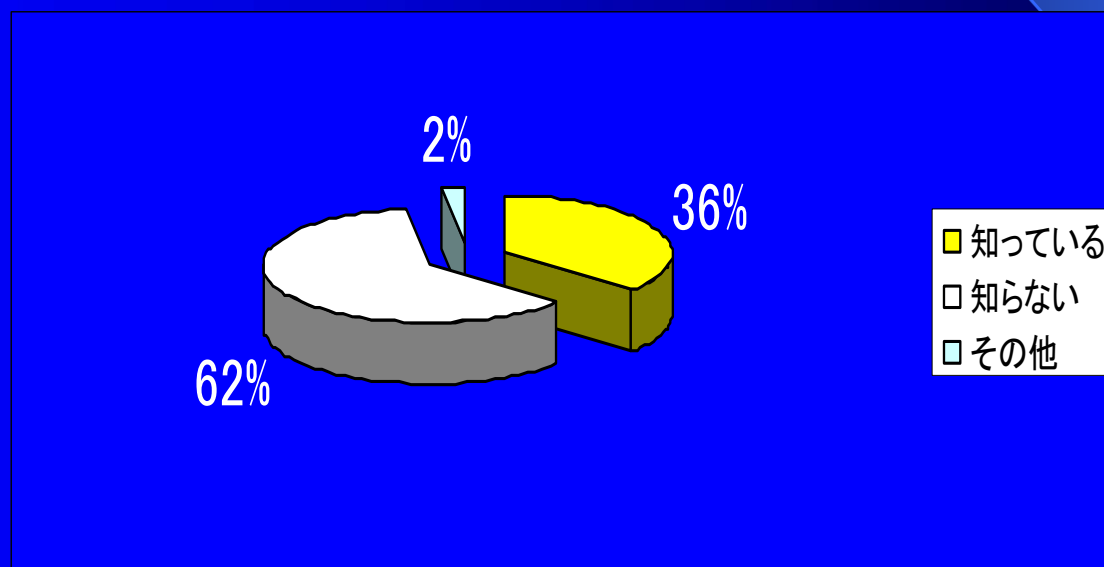
● 記録記載

(記録を行う状況)



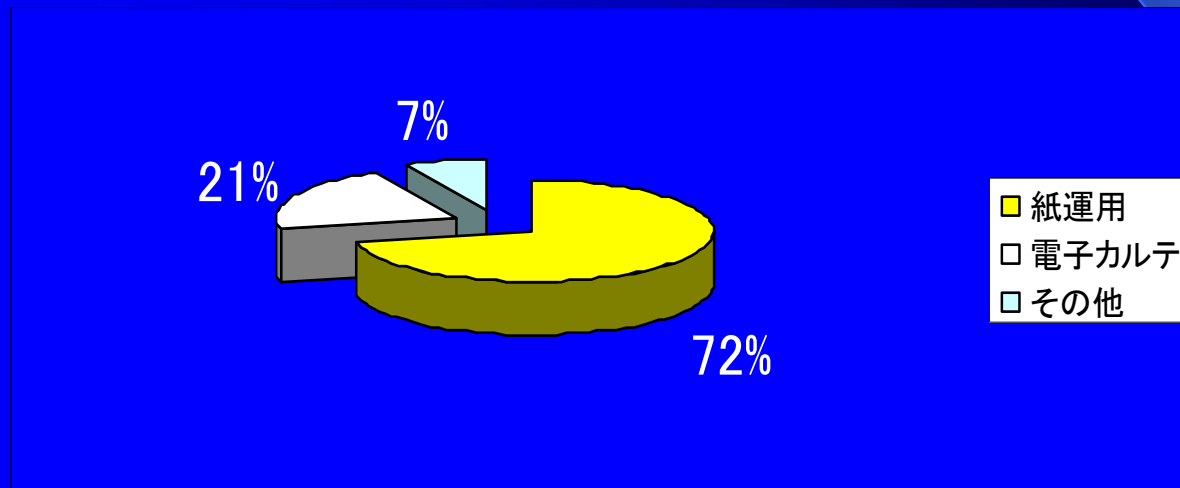
内視鏡看護記録ガイドライン

内視鏡看護記録ガイドラインの周知



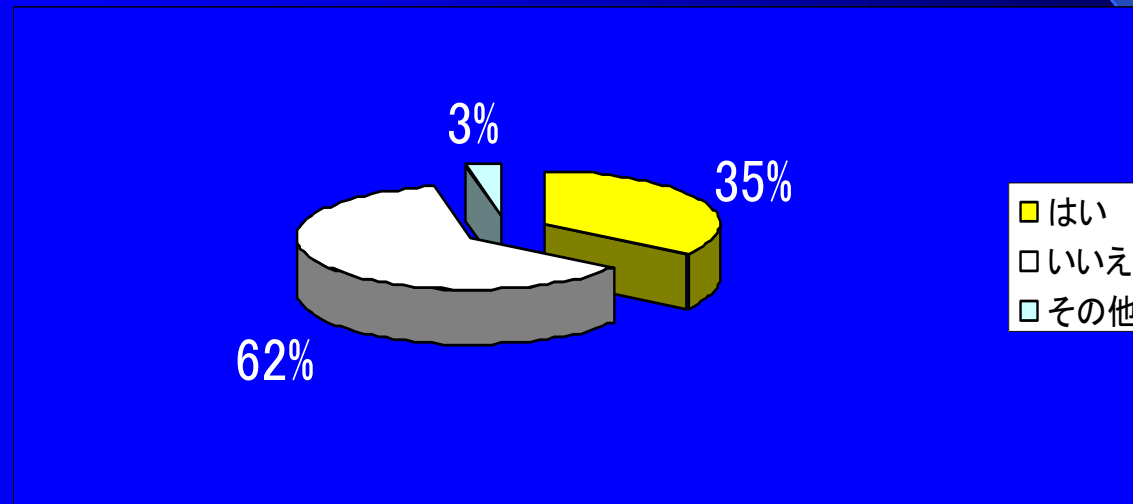
看護記録の運用

- 看護記録の運用について

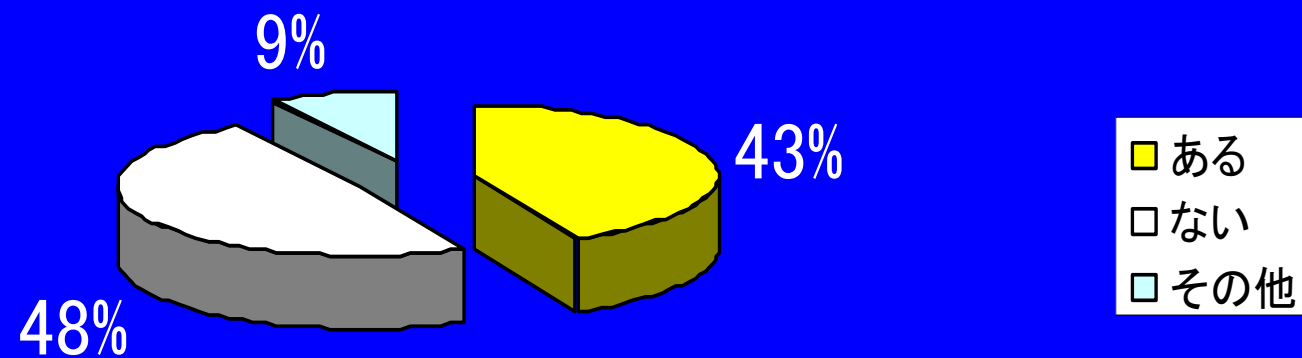


内視鏡看護業務基準

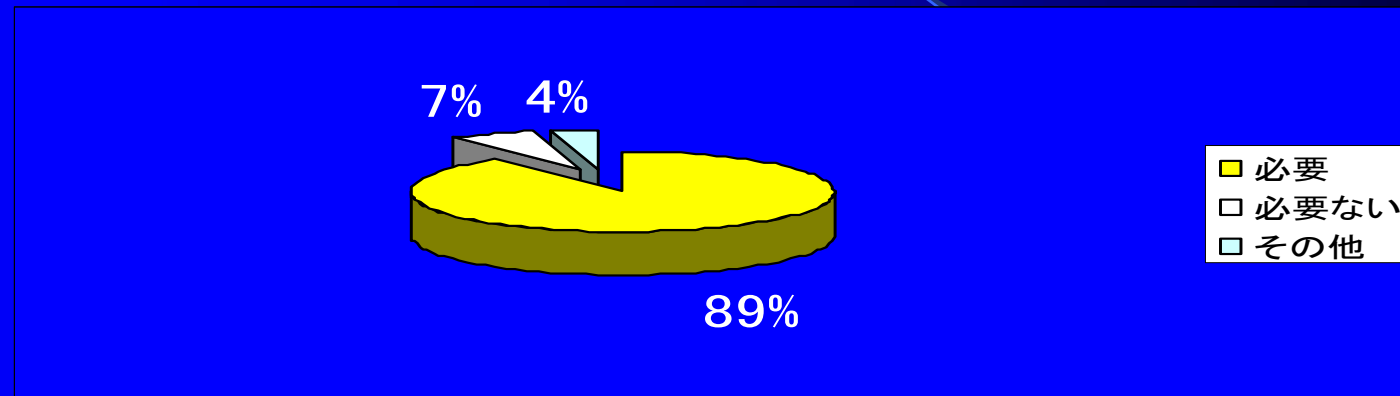
内視鏡看護業務基準の周知



看護記録基準



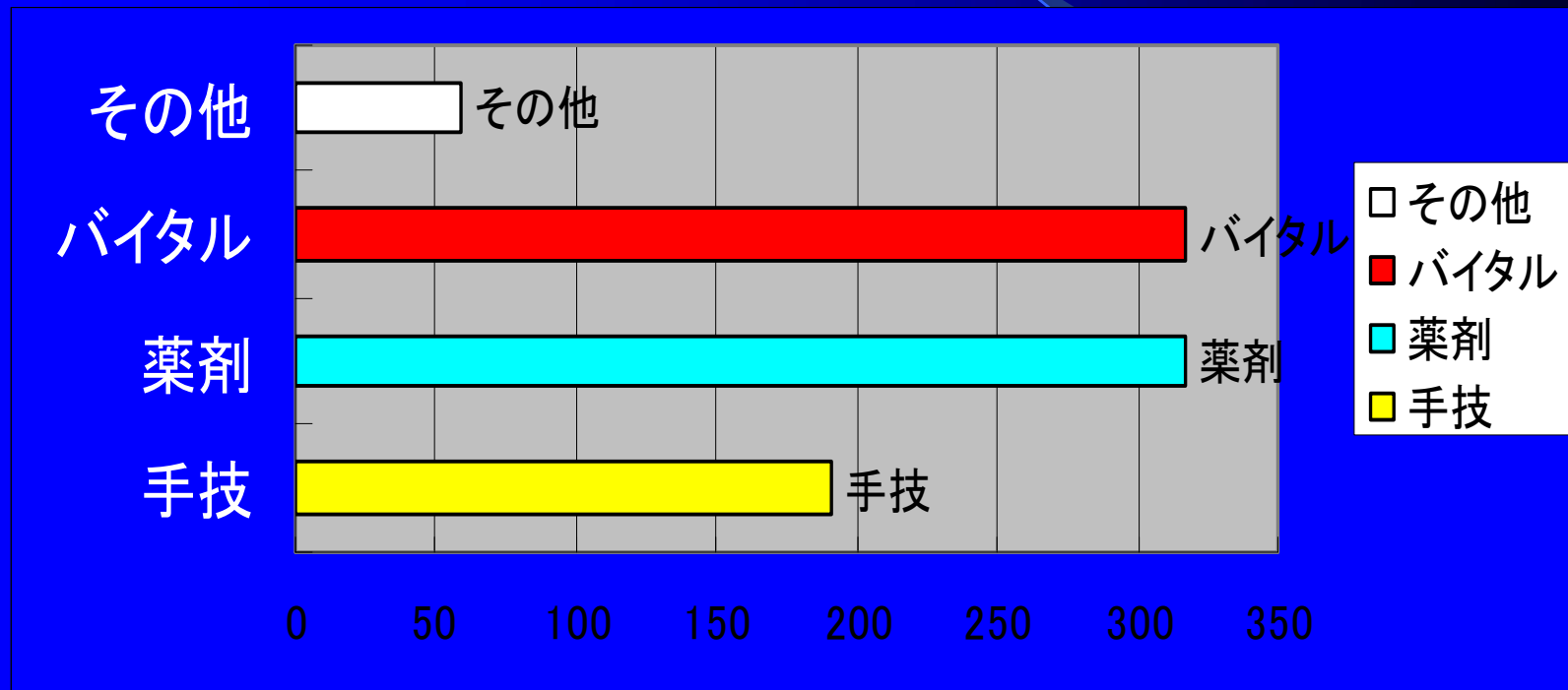
看護記録の必要性



必要ない・その他

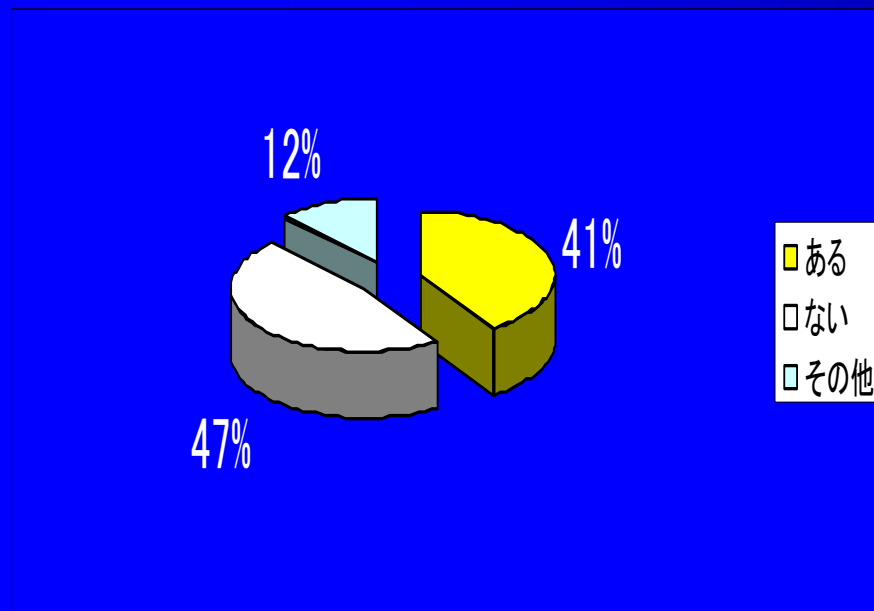
- ・全ての患者に必要ではない
- ・検診には不要
- ・急変時のみで、特変なければ必要ない
- ・記録の余裕がない。(人手不足など)

看護記録の内容



外来や病棟との連携

- 外来との送り票



- 病棟との送り票

